



被災地からの 経験・教訓の共有と継承 —東日本大震災を中心に—

阪神・淡路大震災から中越大地震を経て東日本大震災にいたるまで、被災地からの経験・教訓の共有と継承は如何になされ、その後の災害においてどのように活かされたのか、また、今後の災害において同じ犠牲や困難を繰り返さぬための教訓の共有・継承のあり方を研究者・実践者の皆さんと考えていきます。

**参加無料
 一般公開**
 定員1,000名
 先着順



パネリスト

- 牧 紀男 氏 (京都大学防災研究所教授)
- 重川 希志依 氏 (常葉大学教授)
- 佐藤 翔輔 氏 (東北大学災害科学国際研究所准教授)
- トリシア・ワクテンドルフ 氏 (デラウェア大学教授)
- 藤間 千尋 氏 (公益社団法人みらいさぽーと石巻)

コーディネーター

- 伊東 昭代 氏 (宮城県震災復興・企画部長)

世界防災フォーラム プレナリーセッション (宮城県主催 一般市民向け公開セッション)
 参加費 無料 (先着順：事前申し込み優先です。申し込み方法は裏面をご覧ください。)
 開催日時 平成29年11月26日(日) 16:20~17:50
 開催場所 仙台国際センター会議棟 2階 大ホール (1,000名収容)
 アクセス 地下鉄東西線・国際センター駅より徒歩1分
 お問い合わせ 宮城県震災復興・企画部震災復興推進課 (TEL022-211-2403)

パネリスト



牧 紀男氏 京都大学防災研究所 都市防災計画分野 教授

1968年生まれ。和歌山県出身。2014年一京都大学防災研究所教授。専門は、防災計画、災害復興計画、危機管理システム、すまいの災害誌。数多くの自治体の防災戦略計画策定、地域防災計画にたずさわると共に、2004年新潟県中越地震で大きな被害を受けた小千谷市の復興計画の策定・検証や、2011年東日本大震災では岩手県災害対策本部において災害対応時の情報処理支援を行う等、被災地における自治体支援活動を行っている。また、日本内外の災害後の復興プロセス、住宅再建についても調査を行っている。著書「復興の防災計画」「災害の住宅誌」(鹿島出版会)、「組織の危機管理入門ーリスクにどう立ち向えばいいのか(京大人気講義シリーズ)」(丸善) 他



重川 希志依氏 常葉大学大学院環境防災研究科 教授

東京都出身。東京大学工学部都市工学科研究生を経て(財)都市防災研究所に入り、研究部長を経て2000年から富士常葉大学環境防災学部助教授。2003年より教授、2006年より大学院環境防災研究科教授。中央防災会議委員、消防審議会委員、地域安全学会会長などを務める。専門分野は、防災教育。災害に強いまちづくり、人づくりのための教育プログラム等の研究や災害弱者が安心して暮らせる地域づくりのための活動を続けている。著書に『新しい人間、新しい社会ー復興の物語を再創造するー』(共著)(京都大学学術出版会)、『都市再生のデザイン』(共著)(有斐閣)、『防災の決め手「災害エスノグラフィー」』(共著)(NHK出版)などがある。



佐藤 翔輔氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授

2011年4月東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教を経て、2017年11月より現職。専門は、災害情報、災害伝承、災害復興、津波避難、防災啓発など。2004年には、新潟県で発生した7.13新潟水害、中越地震を体験。東日本大震災の被災地では、現場での「実践的」な防災・減災・復興に関する研究に従事するほか、主に宮城県内で、石巻市・気仙沼市・東松島市・名取市・亘理町などの自治体で、防災や震災伝承関係の委員をつとめている。主な著書は、「わかる！取り組む！ 災害と防災 第2巻 津波(帝国書院)」、「災害フィールドワーク論(古今書院)」、「東日本大震災を分析する2 震災と人間・まち記録(明石書店)」など。いずれも分担執筆。



トリシア・ワクテンドルフ氏 デラウェア大学 教授

デラウェア大学の社会学の教授で、世界的に有名な災害研究センター長でもある。同センターは、災害の社会科学的な側面に焦点を当てた、世界で最も歴史がある研究機関である。20年以上の間、災害の前・中・後における複数の組織間の連携、国家間の危機及び災害に対する社会の脆弱性を中心として研究している。2001年のワールド・トレード・センターへのテロ攻撃や、津波の被害を受けたインド、スリランカ(2004)、日本(2011)、ハリケーン・カトリーナ(2010)、サンディ(2012)、及び中国(2008)、ハイチ(2010)の地震等の緊急対応フィールドワークを行った。数々の研究が、アメリカ国立科学財団等の団体から認められ、災害時に求められる臨機応変な対応力や被災地の持つ凝集力(ディザスター・コンバージェンス)についての著書を出版。



藤間 千尋氏 公益社団法人みらいさぽーと石巻

1978年生まれ。神奈川県出身。2004年から国際NGOピースボートのスタッフとして、地球一周の船旅の運営や企画に関わる。2008年に退職し、一般職に就いていた時に東日本大震災が発生。ピースボートが石巻で支援を開始したことを知り、石巻にボランティアとして通い始める。2011年9月に勤めていた会社を退社。翌月より石巻市に移り住み、一般社団法人 石巻災害復興支援協議会(現：公益社団法人みらいサポート石巻)にて勤務が始まる。当初より、震災学習プログラムの調整業務を担いながら、2014年以降は資料館の運営にも携わっている。

コーディネーター

伊東 昭代氏 宮城県震災復興企画部長

愛知県豊明市出身 1983年宮城県庁入庁。2007年教育庁教育企画室長、2008年企画部政策課長、2010年保健福祉部保健福祉総務課長、2011年教育庁教育次長、2013年東京事務所長、2014年保健福祉部長、2016年4月より現職。

申し込みはFAX(022-211-2493) 又は電子メールで申し込み下さい。締切：11/22(水)

お名前	所 属 (差し支えない範囲でご記入下さい)

■電子メールによるお申し込み

件名に「世界防災フォーラム宮城県申込み」と明記ください。

①お名前 ②ご所属等を記載のうえ、下記アドレスまで

fukusui@pref.miyagi.lg.jp

※いただいた個人情報は、セッション受付以外の目的には使用しません。また申し込みへの返答は行いませんので、当日会場までお越し下さい。